

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんぶりっつふいるはーもにつくういんず		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人ブリッツフィルハーモニックウインズ		<a href="https://blitz-winds.com">https://blitz-winds.com</a>
代表者職・氏名	代表理事 松元宏康		
制作団体所在地	〒 157-0073	最寄り駅(バス停)	祖師谷大蔵駅
	東京都世田谷区砧1丁目27番地18-105号		
電話番号	070-4551-4442		
ふりがな 公演団体名	ぶりっつふいるはーもにつくういんず		団体ウェブサイトURL
	ブリッツフィルハーモニックウインズ		<a href="https://blitz-winds.com">https://blitz-winds.com</a>
代表者職・氏名	代表理事 松元宏康		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	2003年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 松元宏康 理事 渡邊一毅、齊藤健太 事務局員 柴田麻衣	(1)団体構成員 常任指揮者1名 楽団員15名 (2)加入条件 実技オーディション及び面接	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	柴田麻衣
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	柴田麻衣
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:info@blitz-winds.com">info@blitz-winds.com</a>		

<p><b>制作団体沿革・ 主な受賞歴</b></p>	<p>平成15年 4月 ブリッツ・プラスとして発足  平成22年 CD「SAX EXPO!!」レコード芸術誌・特選盤選出  2010年度レコードアカデミー賞吹奏楽部門/ミネート作品選出  平成22年 大韓民国文化庁主催2010 Korea International Wind Band Festival 招請  韓国主要3都市での公演に出演  平成24年以降 0才から入場できる親子で楽しむコンサート「こどもブリッツ」定期開催</p> <p>平成25年 4月 法人化に伴い一般社団法人ブリッツフィルハーモニックウインズに改称  平成26、27年 地域の合唱団と共演する「吹奏楽による第九」開催  平成29年 桃園管楽嘉年華 2017 TAOYUAN BAND FESTIVALメインコンサート(台湾・桃園市)  令和2年 CD「凱旋」齊藤健太第7回アドルフ・サックス国際コンクール優勝記念公演ライブ録音  レコード芸術誌・準推薦盤選出  令和2年 東京都芸術文化活動支援事業「アートにエールを！東京プロジェクト(ステージ型)」採択  令和2年 文化庁事業「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」実施  令和3年 文化庁事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」実施  令和4年 文化庁事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」実施  令和5・6年 東京都教育委員会「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」実施</p>		
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>平成23年度 東京都東大和市立第三中学校  平成24年度 東京都本郷中学校・本郷高校(本郷学園)  平成27年度 東京都保善高等学校  東京都本郷中学校・本郷高校(本郷学園)  令和元年度 青森県弘前市立西小学校  静岡県立掛川東高等学校  令和3年度 東京都世田谷区立山野小学校  令和5年度 青森県弘前市立東中学校  逗子市立沼間中学校  東京都教育委員会「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」 11校20公演(約4700名鑑賞)  清瀬市立清瀬第十小学校、港区立高輪台小学校、世田谷区立山野小学校  世田谷区立用賀小学校、板橋区立北野小学校、清瀬市立芝山小学校  清瀬市立清瀬第六小学校、杉並区立小中一貫教育校高円寺学園中学部  足立区立伊興中学校、板橋区立赤塚新町小学校、清瀬市立清瀬第五中学校</p> <p>令和6年度 東京都教育委員会「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」 9校(約3000名鑑賞)予定  江戸川区立松江第二中学校、世田谷区立用賀小学校、清瀬市立清瀬第六小学校  足立区立伊興中学校、杉並区立小中一貫教育校高円寺学園中学部  板橋区立北野小学校、足立区立西新井中学校、板橋区立板橋第二中学校  三鷹市立第三中学校</p>		
<p><b>特別支援学校等 における公演実績</b></p>	<p><b>【ワークショップ・本公演指揮者 松元宏康 実績】</b>  平成30年 山形交響楽団スクールコンサート 特別支援学校訪問  平成31年 山形交響楽団スクールコンサート 特別支援学校訪問</p>		
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/lwuLtQS5xwc">https://youtu.be/lwuLtQS5xwc</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>

別添	あり
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 **ブリッツフィルハーモニックウインズ**】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	みんなで作ろう吹奏楽ライブコンサート！ ～「聴いて」「感じて」「鳴らして」一緒に盛り上がりよう！～			
企画のねらい	児童・生徒が“生演奏によるライブ感”を体感することで、主体的に想像力や思考力を深めることを促し、豊かな感性を育むことを目的としています。 また、その演奏に実際に参加し共演することで、児童・生徒同士や出演者と協働的に関わることにより、新たな価値を見出したり、音楽を介して対話的学びの実現を目指します。 出演者自身の実演を支えるこれまでの経験や姿勢(例:コンクール優勝といった目標達成への過程など)を言葉で伝えつつ、質問コーナーや感想を発表する時間を設けることで、児童・生徒が自身の多様な可能性に目を向け、自己理解を深めることを促し、キャリア形成の手助けや持続可能な社会の創り手への一歩となるきっかけづくりに繋がります。			
演目概要・演目選択理由	以下3つの視点で演目の選択を行いました。 ※別添資料あり ☆“生演奏”の魅力を感じられ芸術性や音楽知識の学習効果が高いプログラム(オープニング、楽器紹介等) ☆ストーリー性のある楽曲を取り上げ、児童・生徒の想像力や思考力の向上につながるプログラム(たなばた、虹の彼方に等) ☆子どもたちが、自らの力で生き方を選択していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的な働きかけを担う(共演、ソリストとのトークセッション等)			
児童・生徒の参加又は体験の形態	◆選択式:ご希望に合わせてプログラムを(a)(b)(c)(d)からお選びいただけます (a) 校歌合唱 弊団オリジナルの吹奏楽伴奏に編曲にて共演!指揮は学校の先生にご担当していただきます (b) 児童・生徒の手拍子を楽器に見立てた「手拍子オーケストラ」:ラデツキー行進曲 (c) 全校合唱での共演(「ピリウ」/「旅立ちの日に」等、吹奏楽伴奏でお届けします!) (d) 吹奏楽・管弦楽・合唱など部員の皆さんと共演 各学校で普段取り組んでいる作品を取り上げます			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	～600人(柔軟に対応いたします)	
		鑑賞人数目安	～600人(柔軟に対応いたします)	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オープニングからみんなで盛り上がりよう!</p> <p>① <b>プリマ:シング・シング・シング</b> ※最初はドラム担当の奏者だけが入場し、演奏を開始いたします。 ※トランペット、クラリネットのソロの後の拍手、曲途中で演奏との手拍子を促します。</p> <p>1つ1つの楽器を紹介いたします!</p> <p>② <b>楽器紹介</b> ※案内役がそれぞれの楽器の名前・音色を紹介して進行いたします。 ※奏者は有名な旋律を1フレーズ演奏いたします。</p> <p>音楽からストーリーを感じてみよう!</p> <p>③ <b>酒井格:たなばた(The Seventh Night of July)</b> ※演奏前に、曲が作られた背景や旋律に込められた意味などを説明いたします。</p> <p>伝統ある旋律を聴いてみよう!</p> <p>④ <b>ヴェルディ:歌劇「アイダ」より凱旋と勝利の進行曲</b></p> <p>休憩～10分～</p> <p>音楽から色々な情景を想像してみよう!</p> <p>⑤ <b>アーレン:虹の彼方に</b> 世界一の音色をあなたに届けます!</p> <p>⑥ <b>カーペンターズ:青春の輝き</b> ※ソリスト齊藤健太、弊団コンサートマスター、第7回アドルフサックス国際コンクール優勝</p> <p>⑦ <b>ソリストとトークセッション!</b> ※齊藤健太と児童・生徒さんによるインタビューを行います。 ※キャリア教育の観点から「自らの力で生き方を選択していくこと」についての話を進行したいと思います。</p> <p>⑧ <b>吹奏楽団と思い出に残るコラボレーション!</b> ※校歌、「手拍子オーケストラ」によるラデツキー行進曲、合唱曲、吹奏楽共演から選んでいただけます。</p> <p>ライブのエンディングはスタンダードナンバーで!</p> <p>⑨ <b>ガーシュイン(小野寺真編曲):ガーシュイン・セレクション</b> (ラプソディー・イン・ブルー/パリのアメリカ人/アイ・ガット・リズム)</p> <p>⑩ <b>アンコール 和泉宏隆:宝島</b></p>			
		公演時間	90	分

<b>出演者</b>	指揮者・案内役:松元宏康、竹内健人(予定) 吹奏楽:ブリッツフィルハーモニックウインズ ※基本楽器編成:フルート:大塚恵里香/オーボエ:二山都/クラリネット:渡邊一毅、関璃菜/バスクラリネット:客演奏者(未定) アルトサクソフーン:齊藤健太/テナーサクソフーン:神保佳祐 ホルン:堀秀樹/トランペット:柴山貴生、古土井友輝/トロンボーン:飯田智彦 ユーフォニアム:濱岡雪乃/テューバ:田中優幸/パーカッション:富岡春絵(もしくは狩野もなみ)、佐竹尚史																															
<b>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴</b> ※3名程度 ※3行程度/名	<b>【指揮者・案内役】松元宏康</b> 文化庁「学校巡回公演事業」にて仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、九州交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団と100公演以上共演。文化庁委託事業「障害者等による文化芸術活動推進事業」ならびに沖縄県主催で開催された離島地域(竹富島、久米島、久高島、石垣島、渡嘉敷島)での公演にて琉球フィルハーモニックオーケストラと共演する。洗足学園音楽大学講師。 <b>【サクソフーン奏者】齊藤健太</b> 第7回アドルフサクソス国際コンクール第1位、第9回ノヴェゴリツァ国際サクソフーンコンクール第2位、第34回日本管打楽器コンクール第3位。オーストリア(ウィーン)、フランス(パリ)、アメリカ(コロラド、ミシガン他)、中国(香港)、台湾(台中)で開催された公開レッスンに講師として招聘される。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタルパシオ」等に出演。 <b>【ユーフォニアム奏者】濱岡雪乃</b> 第32回日本管打楽器コンクールユーフォニアム部門第3位、第35回第2位。2016年 ITECコンペティション(アメリカ)アーティストユーフォニアム部門第3位、2019年優勝。2018年第13回チェジュ国際管打楽器コンクール(韓国)ユーフォニアム部門第2位。第85回読売新人演奏会に出演。桜美林大学芸術文化学群非常勤講師。																															
<b>本公演 従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む</b>	<table border="1"> <tr> <td>出演者:</td> <td>16</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>4</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計:</td> <td>20</td> <td>名</td> </tr> </table>				出演者:	16	名	スタッフ:	4	名	合計:	20	名	<b>運搬</b>		<table border="1"> <tr> <td>積載量:</td> <td>1</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>車長:</td> <td>4.8</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>台数:</td> <td>1</td> <td>台</td> </tr> </table>		積載量:	1	t	車長:	4.8	m	台数:	1	台						
出演者:	16	名																														
スタッフ:	4	名																														
合計:	20	名																														
積載量:	1	t																														
車長:	4.8	m																														
台数:	1	台																														
<b>本公演 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">前日仕込み</th> <th colspan="2">無</th> <th colspan="2">前日仕込み所要時間</th> <th colspan="2">時間程度</th> </tr> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>ワークショップ</th> <th>ゲネプロ</th> <th>上演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時00分</td> <td>～9時00分</td> <td>9時30分～10時50分</td> <td>11時15分～12時00分</td> <td>13時30分～15時00分</td> <td>10分</td> <td>15時10分～</td> <td>16時40分</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。</p>								前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度		到着	仕込み	ワークショップ	ゲネプロ	上演	内休憩	撤去	退出	8時00分	～9時00分	9時30分～10時50分	11時15分～12時00分	13時30分～15時00分	10分	15時10分～	16時40分
前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度																										
到着	仕込み	ワークショップ	ゲネプロ	上演	内休憩	撤去	退出																									
8時00分	～9時00分	9時30分～10時50分	11時15分～12時00分	13時30分～15時00分	10分	15時10分～	16時40分																									
<b>本公演 実施可能日数目安</b> ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10日</td> <td>7日</td> <td>5日</td> <td>14日</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> </tr> <tr> <td>15日</td> <td>15日</td> <td>15日</td> <td>10日</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">91日</td> </tr> </tbody> </table>								6月	7月	8月	9月	10日	7日	5日	14日	10月	11月	12月	1月	15日	15日	15日	10日	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	91日			
6月	7月	8月	9月																													
10日	7日	5日	14日																													
10月	11月	12月	1月																													
15日	15日	15日	10日																													
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	91日																												

体育館を縦向きに使用した →  
イメージ



公演に係るビジュアル  
イメージ  
(舞台の規模や演出が  
わかる写真)



← 体育館を横向きに使用した  
イメージ

※採択決定後、図  
面等の提出をお願い  
します。

- 体育館のフロアにて演奏いたします (演奏に必要な広さ：横幅12m×奥行7～8m)
- 演奏エリアと児童・生徒との間は、最低2mほど開けます
- 体育館ステージ上を楽器ケース置き場として使用いたします ※緞帳は閉めます
- 学校に平台がある場合は、児童・生徒が見やすいように、後列奏者用に4～5枚ご準備いただけますと幸いです

著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当あり	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名 JASRAC		許諾確認状況	採択後手続き予定

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 **ブリッツフィルハーモニックウインズ**】

ワークショップのねらい	<p>本公演への期待感を高めるとともに、理解の手助けをしつつ、“鑑賞する楽しさ”を分かりやすく伝えます！</p> <p>児童・生徒が本公演で主体性をもって鑑賞できるよう、音楽を“聴く楽しさ”だけでなく“知る楽しさ”“わかる面白さ”を体験していただきます。</p> <p>奏者による演奏や体験談、児童・生徒への問いかけを取り入れ、「音楽とは？」「吹奏楽とは？」を分かりやすくお伝えし、音楽への興味が少ない児童・生徒も親しみを持って楽しめるよう配慮をいたします。</p> <p>また、本公演での共演に向けた課題を見つけ取り組むほか、プロならではの視点で、技術的な指導はもちろん、音楽を作り上げる楽しさや一体感を伝え、共演へ向けたモチベーションづくりをいたします。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	～600人(柔軟に対応いたします)

<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p><b>「見て」「聴いて」「触って」知ろう！吹奏楽の楽器と音色 〈吹奏楽の魅力を感じて演奏会へのわくわくを膨らませよう！〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリッツフィルハーモニックウインズのメンバー3名と指揮者(案内役)で構成します。</li> <li>・ワークショップの内容、楽器体験は以下のように進めさせていただきます。実施時間は80分目安です。</li> </ul> <p><b>①【オープニング】</b> ご挨拶、メンバー紹介(指揮者1名、奏者3名)</p> <p><b>②【演奏】</b> ワークショップ出演奏者3名によるアンサンブルを聴いていただきます。</p> <p><b>③【楽団紹介】</b> (1) 楽団プロフィール写真の特大パネルを使って吹奏楽の形態を知ってもらいます。 (2) 吹奏楽は、主に木管楽器、金管楽器、打楽器の3つのグループによって構成されていることを説明いたします。</p> <p><b>④【木管楽器の紹介】</b> (1) 楽団メンバーが楽器を持ち撮影しているパネルを使って、吹奏楽で使用される木管楽器の紹介をします。 (2) ピンヤストローといった実際に手に取ったことのある物を使って、リードやマウスピースといった楽器の音の 出る仕組み・音程を変える仕組みをわかりやすく説明いたします。 (3) 木管楽器の演奏を聴いてもらい、音色の理解を深めます。</p> <p><b>⑤【金管楽器の紹介】</b> (1) 楽団メンバーが楽器を持ち撮影しているパネルを使って、吹奏楽で使用される金管楽器の紹介をします。 (2) 唇の振動とマウスピースとの関係、ゴムホースでの演奏を通して、楽器の音の出る仕組み・音程を変える仕 組みをわかりやすく説明いたします。 (3) 金管楽器の演奏を聴いてもらい、音色の理解を深めます。</p> <p><b>⑥【打楽器の紹介】</b> (1) 楽団メンバーが楽器を持ち撮影しているパネルを使って、吹奏楽で使用される打楽器の紹介をします。 (2) 叩く、振る、擦るなど、様々な奏法を紹介しつつ、楽器の音の出る仕組みをわかりやすく説明いたします。 (3) 打楽器の演奏を聴いてもらい、音色の理解を深めます。</p> <p><b>⑦【演奏】</b> 吹奏楽で使用する楽器の名前、音色、音の出る仕組みを知った上で改めて演奏を聴くことにより、楽器につい ての理解を深めた後に演奏を聴いた際感覚を体験する事で「知識を得ることへの喜び」を感じ取っていただ きたいと思えます。</p> <p><b>⑧【楽器体験】</b> 木管楽器、金管楽器、打楽器の楽器体験をしていただきます。(感染対策をして実施します)</p> <p><b>⑨【質問コーナー】</b> その場で生徒・児童の皆さんからの奏者や指揮者への質問を募集し、演奏者への興味を深めます。</p> <p><b>⑩【ワークショップまとめ】</b> ワークショップのまとめとコンサートの魅力の説明をし本公演への期待を膨らませます。</p> <p>※吹奏楽部、管弦楽部、合唱部との共演希望があった際には、ワークショップ前後で指揮者、出演者による演 奏指導を行います。</p> <p>(ワークショップが別日開催の場合は、ワークショップの際に学校側の担当者と事務局スタッフで本公演の打ち 合わせを行います。※学校側の様子を写真撮影させていただく場合があります)</p>
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>特別支援学校でのワークショップでは、参加人数、大きな音量やそれぞれの理解度への考慮をしつつ、学 校ごとの様子に合わせて内容を柔軟に対応いたします。楽団所有の楽器紹介用パネルや簡易楽器を使っ てゆっくり丁寧に進行します。実施時間についてもご相談の上で、変更することが可能です。</p>

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 **ブリッツフィルハーモニックウインズ**】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p><b>【本事業を通じて実現したいこと】</b></p> <p>弊団ではこれまでの活動において、学校公演／子供向けの自主演奏会／市区町村・地域吹奏楽連盟との共催事業など、子供たちの情操教育への積極的な関わりを一つの柱として推し進めてきました。その取り組みは、児童・生徒の感想として「初めて本物のプロの演奏を生で聴いて衝撃を受けました！ぼくは音楽が苦手ですが、また聴きたいと思いました！」「コンサートの途中で飽きなかったのは初めてです！」のように弊団に還元され、活動の信頼性へと繋がっています。継続的な音楽文化への興味関心を育み、多様な子供たちに対して誰一人取り残すことのないよう「音楽の楽しさ」を届けてきました。</p> <p>また弊団では「確かな演奏技術による本物の音楽」を「わかりやすく」「楽しく」伝え、児童・生徒の「芸術鑑賞能力向上」を図るだけでなく、児童・生徒との共演や出演者との対話を通して、鑑賞体験が協働的な学びやキャリア形成につながる「気付きの場」としての位置付けにもなるよう心掛けてきました。</p> <p>目に見えない音楽には、児童・生徒の想像力と豊かな感性を育て、自らの個性の自覚や自他への理解を深める要素があると考えます。そして本事業はそのはたらきをすべての児童・生徒に体感していただく貴重な機会であると感じています。</p> <p>多くの可能性を持つ子供たちが自らの生き方を選択していくなかで、音楽を楽しむことが娯楽の一つに留まらず、豊かな人生の支えとなる資質・能力づくりのきっかけとなるよう、そして、弊団の芸術鑑賞教室が芸術・文化的つながりの一端を担い、より良い社会を創る一助となるよう、本事業に取り組んでまいります。</p> <p><b>【上記実現に向けて、実施の工夫】</b></p> <p>◆一つ一つの楽器や音楽をシンプルかつ丁寧に魅せ、初めての開催でも取り組みやすい</p> <p>小編成アンサンブル(指揮者1名+奏者15名)での公演スタイルでは音楽・音色をシンプルに魅せることができるため、各演奏者の様子にも注目しやすくと好評です。児童・生徒が慣れない芸術体験の場で集中力を保ち続けることが難しい場合でも、細部に焦点を当て息遣いを感じながら鑑賞することが可能になり、より興味をもって楽しめる環境を提供できます。</p> <p>◆児童・生徒に合わせた柔軟な進行</p> <p>親しみやすく明快な解説で理解を促すだけでなく、児童・生徒の反応に応じて終始関心を引きながら公演を進行していきます。</p> <p>また、日頃の公演から観客の皆さんとの交流の時間を設けるなど、子供から大人まで直接コミュニケーションをとることを楽団全体のモットーとして掲げており、豊富な学校公演の経験に裏付けされた教育的配慮や児童・生徒に寄り添う指導力によって、児童・生徒にとって本物を身近に感じられる機会を実現します。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p><b>【学校との連絡調整について】</b></p> <p>綿密な打ち合わせを実施することで、実施未経験の学校が抱える不安を解消し、より各学校のニーズに合わせたワークショップ・公演の開催を大切にしています。</p> <p>初めに電話にてご担当の先生とお話し、対象学年や参加人数の確認をはじめ、スケジュールの希望・会場・例年の芸術鑑賞教室の様子、そのほかご要望を伺いながら開催に向けてイメージのすり合わせを行います。</p> <p>その後ワークショップまでは、学校の環境・実施体制・先生方のご都合に合わせて、お電話/FAX/メール/オンライン会議等を用いてやり取りを進め、必要があれば直接お伺いし、打合せをさせていただきます。</p> <p>これまでの学校公演での経験を生かし、公演に必要な準備や打ち合わせ箇所を記載したチェックリスト・行程表を準備させていただき、学校との効率的かつ円滑な意思疎通を図ります。</p> <p>ワークショップでは、実際に訪問してわかる会場の大きさ等を踏まえて、より詳細に本公演の打合せを行います。(ワークショップが本公演と同日開催の場合は、事前にお伺いし、打合せを行います。)</p> <p><b>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</b></p> <p>事前のヒアリングを通して、対象児童・生徒の興味関心や状況に合わせてプログラム進行を心がけます。(例:大きな音に対して苦手意識がある児童・生徒がいる場合や同じ空間での鑑賞が難しい場合は、リモート体制をとるなど学校ごとに必要とされる対応をさせていただきます)</p> <p><b>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</b></p> <p>児童・生徒が学びたいと感じたタイミングでいつでも学べるよう、弊団公式サイトには映像コンテンツや質問フォームを設置し、継続的な学びへつながるよう配慮しています。また、ワークショップや公演後に出てきた児童・生徒の興味関心や疑問について感想文や質問をいただき、質問には出演者が文面にてお答えする取り組みを行っています。</p>
--	--

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 **ブリッツフィルハーモニックウインズ**】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p><b>① 離島・へき地等における公演実績</b></p> <p>■令和2年度 文化庁「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」 弘前市立津軽中学校:全校生徒274名対象 弘前市立新和中学校:全校生徒75名対象 弘前学院聖愛中学校:全校生徒73名対象</p> <p>■令和3年度 文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」 大鰐町立大鰐中学校:全校生徒139名対象</p> <p><b>② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</b> 【地理的に特殊な事情がある地域での実施にあたっての工夫】</p> <p>◆大型打楽器やコントラバスのような大型弦楽器は使用しないため、楽器運搬はハイエースなどのワンボックスやミニバン1台で十分可能です。出演者数やスタッフ数、楽器以外の備品も必要最低限に抑えることで、スムーズな運搬・移動ができます。</p> <p>◆公演に必要な舞台設営を学校の備品でできる限り対応し、各地域の複雑な条件に配慮します。</p> <p>◆小編成アンサンブルのため、体育館以外に、音楽室や多目的室なども会場になり得ます。</p> <p>【質を保つための工夫】</p> <p>◆吹奏楽は管弦楽に比べて楽器編成がコンパクトでも迫力あるサウンドを届けることができます。</p> <p>◆特に、弊団では日頃より小編成で演奏しており、室内楽やミュージカルなどの小規模アンサンブルに精通したメンバーも多く在籍しているため、出演者の人数に左右されることなく、どのような開催地でも同等の質の演奏をお届けいたします。</p> <p>◆出演者は皆、学校公演の経験が豊富であり、演奏面だけでなく、実施体制においても1人1人教育的配慮を欠かさず、児童・生徒に寄り添った公演づくりが可能です。</p> <p>◆吹奏楽のサウンドや楽器の魅力を効果的に伝える楽団オリジナル編曲を通して、大編成に見劣りしない演奏が可能です。(公演後には各学校の先生方より、「人数が少なくてもこれだけのサウンドが聴けるなんて!」とお声をいただくことが多いです)</p> <p>◆コンパクトな編成を生かした舞台セッティング(例:出演者の周りを児童生徒が囲んだり、コの字の形態で鑑賞するなど)にすることで、演奏者の息遣いをより間近で感じることもできます。</p> <p>◆ワークショップについても、手持ちで運べる楽器を用いるため、通常通りの形で実施可能です。</p> <p>加えて、本公演指揮者・ワークショップ主指導者である松元は、離島やへき地での演奏実績を持ち、指揮者として高い鑑賞効果をもたらすための演奏経験や事務における最適な公演実施についてのノウハウを持ち合わせています。それにより、地理的に特殊な事情がある地域や、小規模な公演など、あらゆる開催地であってもニーズに応えながら、柔軟に公演をする工夫ができます。</p> <p><b>③C区分応募における、費用面の工夫</b></p> <p>◆ワークショップと本公演を同日開催できます。その際にワークショップ中に本公演のための設営を行うなど可能な限り時間の短縮や派遣費を削減できます。</p> <p>◆フル編成に比べて大幅に出演者の人数が少なく、必要最小限の出演料や旅費で実施可能です。また、通常3~4名必要な打楽器奏者を、マルチパーカショニストを起用することで2名に抑え、かかる移動費や宿泊費を削減できます。</p> <p>◆楽器運搬については、1台の車両(ハイエース等)に収められ、運搬費用の圧縮をする工夫をしています。</p>
---------------------	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 プリッツフィルハーモニックウインズ】
<p>項目内容 演目概要 演目選択理由</p>	<p>別添参照箇所 《公演趣旨：吹奏楽で表現される“生演奏によるライブ感”を心と身体で体験し、子どもたちの発想力を育み、世界観を広げる》 【第1部】聴き馴染みのある曲を取り上げ吹奏楽で使われている楽器やその魅力を紹介します ①【オープニング】L.プリマ：シング・シング・シング 1930年代から40年代にかけてアメリカで大流行したスウィングジャズの代表曲を取り上げ、ジャズの持つ旋律やリズムの面白さを肌で感じてもらいます。子供たちの心をしっかり掴むオープニング曲です。</p> <p>②【楽器紹介】 指揮者と各奏者のトークを交えながら吹奏楽で使われる「木管楽器」「金管楽器」「打楽器」を紹介します。各楽器の特徴や音色について、耳馴染みのある旋律を奏でたり、音の出る仕組みを身近にある物で分かりやすく説明することでより管打楽器への理解を深めます。</p>  <p>③【標題音楽】 酒井格：たなばた(The Seventh Night of July) 七夕にまつわる「天の川によって離ればなれにされた若い男女、彦星と織姫が、年に1度7月7日の夜だけ逢う事を許される」という伝説から、その2人が再会する場面を表現した箇所など、楽曲に込められたストーリーを聞いた上で鑑賞をすることにより、主体的に音を聴く環境を作り出し子供たちの想像力や発想力の育成に繋がります。</p> <p>④【総合芸術の世界／吹奏楽の華々しさ】 G.ヴェルディ：歌劇「アイダ」より凱旋と勝利の進行曲 多岐に渡る芸術分野に触れることのできる「総合芸術」としてのオペラを取り上げます。トランペットのファンファーレが印象深いこの作品は、サッカーの応援で馴染み深く、子供の興味を引くことが期待でき、同時に、間近で聴くことによって生の音楽がもつ力強さを体験できます。</p> <p>【第2部】吹奏楽で表現される多彩な音色をお届けします ⑤【音が創り出すイマジネーション】 H.アーレン：虹の彼方に ミュージカル映画「オズの魔法使い」の有名曲を用いて、木管楽器・金管楽器のやわらかで美しい旋律から主人公のまだ見たことのない遠くの世界を夢見る心情に寄り添うことで、子供の想像力の可能性を広げます。</p> <p>⑥【世界一の音色】 カーペンターズ：青春の輝き ⑦【ソリストとトークセッション】 第7回アドルフ・サックス国際コンクール優勝の実績を持つ、弊団コンサートマスター齊藤健太の演奏をメインとします。広く多くの世代に親しみのあるポップスの名作に乗せて一流の演奏を聴かせることで、楽器のもつ魅力を伝えるだけでなく、子供たちに“音で表現すること”や“音楽の豊かさ”を提案し、芸術鑑賞能力の向上につなげます。また演奏後には、齊藤へのインタビューを実施し、自身の成功体験や目標への過程を話した上で、子供たちへの語りかけを行い、トークセッションを通してキャリア教育的側面も担います。</p>  <p>⑧【オーケストラと共演】 校歌の共演や手拍子による共演、吹奏楽・合唱共演などを通して、「その場でしか得られない音の響き」を体験していただきます。吹奏楽部など音楽系部活動との共演の演目は、その時児童生徒が取り組んでいる作品と一緒に演奏することにより憧れの文化芸術団体との共演を実現させます。</p>  <p>⑨【クラシック音楽の作曲家によるジャズの世界】 G.ガーシュイン：ガーシュイン・セレクション ヨーロッパの伝統を語り継ぐクラシック音楽とアメリカで生まれたジャズを融合させたガーシュインの音楽は、脈々と続く音楽の歴史を体感させながらも未来への明るさを想像させ、古くも新しい音楽文化を体現しています。ガーシュインの有名曲で構成される楽団オリジナルメドレーの鑑賞を通じて、児童・生徒にもその音楽文化の繋がりを体験していただきます。</p> <p>⑩【アンコールは吹奏楽定番曲】 和泉宏隆：宝島 様々な音楽で得られた素晴らしい音楽体験がいつまでも良い思い出となるよう、陽気なリズムによる楽しい雰囲気公演を締めくくります。</p>	